

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称：ひかり幼稚園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名：(理事長)潮谷 義子 (管理者) (園長) 新美 美穂	開設年月日：昭和23年2月9日 (開園)昭和23年10月1日認可
設置主体：社会福祉法人 慈愛園 経営主体：社会福祉法人 慈愛園	定員：110人 (利用人数)113人(令和2年12月)
所在地：〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江2丁目3番2号	
連絡先電話番号：096-364-1073	FAX番号：096-364-1074
ホームページアドレス	http://hikari.jiaien.or.jp

(2) 基本情報

サービス内容(事業内容)	施設の主な行事
第二種社会福祉事業 ・保育所の経営 ・一時預かり事業の経営	・入園進級礼拝 ・お見知り遠足 ・花の日礼拝 ・夏まつり(夏の異年齢児交流) ・運動会 ・お泊り保育 ・芋掘り遠足 ・ごっこ遊び(秋の異年齢交流) ・収穫感謝礼拝と幼児祝福式 ・クリスマス ・創立記念礼拝 ・発表会 ・教会訪問 ・お別れ遠足 ・お別れパーティ ・保育証書授与式
居室概要	居室以外の施設設備の概要
0歳児室90.08㎡ 1～5歳児室(5室合計254.83㎡) 一時保育室55.39㎡ 多目的ホール103.39㎡ 事務室 給食室	園庭 駐車場 菜園

2 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教精神に基づく保育 ・0,1歳児専用の遊具とスペースを配置した広い園庭 ・菜園での季節の野菜栽培 四季を感じる木・実のなる木の植栽 ・非常食体験(備蓄の食材による給食提供 かまどでの調理など) ・ロアッソとの業務提携によるサッカー(運動あそび)教室

3 評価結果総評

特に評価の高い点

* 子どもに寄り添った保育の実践

園はキリスト教の教えに基づき「子どもたちのためによりよいものを」を基本として子どもの最善の利益を目指して日々の保育に取り組んでいる。

職員は子どもに今大事なものは何かを大切に、子ども一人ひとりに寄り添い安心感を持てる保育に努めている。

また、子どもの良いところを職員が共有し、認めることにより「ありがとう」の言葉が自然に出る優しい子どもに育つ保育が実践されている。

今回の第三者評価の受審に際して実施した「利用者（保護者）アンケート」には「保育の先生は温かく、アットホームな雰囲気子どもたちがのびのびと過ごせている」等の記述が多く見られ、保護者からも高い評価を得ていると思われた。

* 地域との積極的な交流

園主催の夏祭りに地域住民が参加し、ヨーヨー釣りやボーリング、盆踊りなどを子どもと一緒に楽しんでいる。

子どもは地域の「生き生きサロン」やデイサービス利用の高齢者と手遊び、折り紙、お手玉等して遊ぶなど、地域の中で交流を重ね、社会性を育む取組が行われている。

職員は地域の子育てサークルへの出前保育や会場提供等、子育て家庭との関わりを大切に、楽しく子育てが出来るよう支援している。

キリスト教の収穫感謝礼拝の際は、地域の一人暮らしの高齢者に子どもと職員がメッセージカードを添えて果物と野菜を届けるなど、地域との交流を広げる活動を継続して行っている。

また、大学や専門学校生の保育実習、中学生や高校生の職場体験など、学校教育にも積極的に協力している。

* 子どもにふさわしい美味しい食生活

食材は地産地消を基本に、園で栽培した季節の新鮮な野菜を使用するなど、質のよい食事の提供に努めている。

五感で感じる食事の提供に努めており、「カミカミメニュー」として未満児が自発的に食事を楽しむよう野菜をスティック状にして手づかみできるようにしたり、煮物の野菜は大きめにして柔らかく調理するなど、発達段階に応じた美味しい食事の提供に配慮している。

また、卒園前の年長児にはリクエストメニューを取り入れて園の思い出づくりを行っている。

月1回「郷土料理の日」を設け、九州各地のちゃんぽん等のご当地メニューを提供し、子どもの食への興味を広げている。

毎月発行する園だよりで献立予定表とレシピを紹介し、保護者に情報提供するとともに、子どもの誕生月には保護者を招いて子どもと同じ給食メニューを体験する「試食会」を開き、保護者の食育への関心を高めている。

* 子どもに関する記録の充実

記録に関する研修に主任保育士が参加し、学んだ内容を職員会議で報告して記録方法等の充実に向けた取組が行われている。

また、書きやすい記録様式に変更し、記録内容や書き方に差異が生じないように工夫している。

記録内容は主任保育士と園長が随時確認し、子どもの状況をよく確認してどのような関わりを持ったか、その結果子どもがどのように変化したかを重視して必要に応じて助言・指導を行っている。

子ども一人ひとりを丁寧に観察した内容と関わりについて保育日誌や個別の経過記録等に詳細に記述されており、観察状況や実施状況がよく分かるような記録となっている。

保護者との連絡に用いる「連絡帳」も子どもの様子や状態などが克明に記録されており、保護者との円滑なコミュニケーションに繋がっている。

改善を求められる点

*** 総合的な人事管理**

園として「期待する職員像等」は示されておらず、「採用・配置・昇進・昇格等」に関する人事基準の文書化は見られなかった。

今後は理念や方針に沿った保育の実現に向け「期待する職員像等」を明確にし、一定の基準に基づき職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する人事管理制度の導入が期待される。

*** 事故防止体制の整備**

事故が発生した場合は事故報告書を作成し、検討内容や改善などが記録されている。

しかし、ヒヤリハットの報告書の提出が積極的に行われているようには見られなかった。

ヒヤリハットは小さな事例でもその都度提出し、事例の要因分析と対応策の検討を行い、職員間で情報共有して事故の発生、再発防止に向けた取組を行うことが望まれる。

*** 各種マニュアル等の整備**

プライバシーの保護に関する規程・マニュアル等、各種業務の取扱いに関するマニュアル等について整備が十分とは見られなかった。

職員による統一した業務の取扱いを確保するためにもマニュアル等の整備が望まれる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

(R3.1.26)

私達の園の良さ（強み）と足りないところを客観的に見ていただき、的確なアドバイスをいただいたことを感謝します。私達が大切にしてきたこと、努力してきたことを高く評価して下さったことは、大きな励みになりました。当たり前と思っていることも文章化することの大切さと、マニュアル化が質の向上につながっていくこともよくわかりました。2020年度はコロナ禍にあって、保育と行事について、方針を相談しながら決め、職員間で共通理解をし、保護者に丁寧に説明して理解を得ることを大切にしてきました。不足を指摘された理念や職員象、様々な計画やマニュアルについても、同じように整えていきたいと思えます。社会の中で、保育所の果たす役割はますます大きくなります。しかし、保育は楽しくて、自身も成長する貴い仕事です。園児・保護者・職員にとって「ひかり幼稚園でよかった」と感じていただけるよう研鑽を続けます。

(別記)

(公表様式1)

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準
【保育所版】

評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ワークショップ「いふ」
所 在 地	熊本市中央区水前寺6-41-5
評価実施期間	2020年5月14日～2021年2月1日
評価調査者番号	09-002
	14-002
	19-008

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称：ひかり幼児園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名：(理事長)潮谷 義子 (管理者)(園長)新美 美穂	開設年月日：昭和23年2月9日 (開園)昭和23年10月1日認可
設置主体：社会福祉法人 慈愛園 経営主体：社会福祉法人 慈愛園	定員：110人 (利用人数)113人(令和2年12月)
所在地：〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江2丁目3番2号	
連絡先電話番号：096-364-1073	FAX番号：096-364-1074
ホームページアドレス	http://hikari.jiaien.or.jp

(2) 基本情報

サービス内容(事業内容)	施設の主な行事
第二種社会福祉事業 ・保育所の経営 ・一時預かり事業の経営	・入園進級礼拝 ・お見知り遠足 ・花の日礼拝 ・夏まつり(夏の異年齢児交流) ・運動会 ・お泊り保育 ・芋掘り遠足 ・ごっこ遊び(秋の異年齢交流) ・収穫感謝礼拝と幼児祝福式 ・クリスマス ・創立記念礼拝 ・発表会 ・教会訪問 ・お別れ遠足 ・お別れパーティ ・保育証書授与式
居室概要	居室以外の施設設備の概要
0歳児室90.08㎡ 1～5歳児室(5室合計)254.83㎡ 一時保育室55.39㎡ 多目的ホール103.39㎡ 事務室 給食室	園庭 駐車場 菜園

職員の配置						
職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤	
園長	1		保育士	1 1	1 0	
主任保育士	1		幼稚園教諭2種(2級)	1 1	5	
保育士	9	1 0	幼稚園教諭1種		2	
栄養士	1		栄養士	1		
調理師		1	調理師	1	1	
看護師		1	看護師		1	
事務	1		小学校教諭2級	2		
調理補助		1	養護学校教諭2種		1	
合 計	1 3	1 3	合 計	2 6	2 0	

派遣の職員1人(保育士)含む

資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 理念・基本方針

「謙遜・献身・愛」をもって仕えます
生活とあそびの中で「生きる力の基礎」を養います
合言葉は『子どものためによいものを』

3 施設・事業所の特徴的な取組

- ・キリスト教精神に基づく保育
- ・0, 1歳児専用の遊具とスペースを配置した広い園庭
- ・菜園での季節の野菜栽培 四季を感じる木・実のなる木の植栽
- ・非常食体験(備蓄の食材による給食提供 かまどでの調理など)
- ・ロアツソとの業務提携によるサッカー(運動あそび)教室

4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 2年 5月 14日(契約日) ~ 令和3年 2月 1日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	回(年度)

5 評価結果総評

特に評価の高い点

* 子どもに寄り添った保育の実践

園はキリスト教の教えに基づき「子どもたちのためによいものを」を基本として子どもの最善の利益を目指して日々の保育に取り組んでいる。

職員は子どもに今大事なものは何かを大切に、子ども一人ひとりに寄り添い安心感を持てる保育に努めている。

また、子どもの良いところを職員が共有し、認めることにより「ありがとう」の言葉が自然に出る優しい子どもに育つ保育が実践されている。

今回の第三者評価の受審に際して実施した「利用者（保護者）アンケート」には「保育の先生は温かく、アットホームな雰囲気子どもたちがのびのびと過ごせている」等の記述が多く見られ、保護者からも高い評価を得ていると思われた。

* 地域との積極的な交流

園主催の夏祭りに地域住民が参加し、ヨーヨー釣りやボーリング、盆踊りなどを子どもと一緒に楽しんでいる。

子どもは地域の「生き生きサロン」やデイサービス利用の高齢者と手遊び、折り紙、お手玉等して遊ぶなど、地域の中で交流を重ね、社会性を育む取組が行われている。

職員は地域の子育てサークルへの出前保育や会場提供等、子育て家庭との関わりを大切に、楽しく子育てが出来よう支援している。

キリスト教の収穫感謝礼拝の際は、地域の一人暮らしの高齢者に子どもと職員がメッセージカードを添えて果物と野菜を届けるなど、地域との交流を広げる活動を継続して行っている。

また、大学や専門学校生の保育実習、中学生や高校生の職場体験など、学校教育にも積極的に協力している。

* 子どもにふさわしい美味しい食生活

食材は地産地消を基本に、園で栽培した季節の新鮮な野菜を使用するなど、質のよい食事の提供に努めている。

五感で感じる食事の提供に努めており、「カミカミメニュー」として未満児が自発的に食事を楽しめるよう野菜をスティック状にして手づかみできるようにしたり、煮物の野菜は大きめに柔らかく調理するなど、発達段階に応じた美味しい食事の提供に配慮している。

また、卒園前の年長児にはリクエストメニューを取り入れて園の思い出づくりを行っている。

月1回「郷土料理の日」を設け、九州各地のちゃんぽん等のご当地メニューを提供し、子どもの食への興味を広げている。

毎月発行する園だよりで献立予定表とレシピを紹介し、保護者に情報提供するとともに、子どもの誕生月には保護者を招いて子どもと同じ給食メニューを体験する「試食会」を開き、保護者の食育への関心を高めている。

* 子どもに関する記録の充実

記録に関する研修に主任保育士が参加し、学んだ内容を職員会議で報告して記録方法等の充実に向けた取組が行われている。

また、書きやすい記録様式に変更し、記録内容や書き方に差異が生じないように工夫している。

記録内容は主任保育士と園長が随時確認し、子どもの状況をよく確認してどのような関わりを持ったか、その結果子どもがどのように変化したかを重視して必要に応じて助言・指導を行っている。

子ども一人ひとりを丁寧に観察した内容と関わりについて保育日誌や個別の経過記録等に詳細に記述されており、観察状況や実施状況がよく分かるような記録となっている。

保護者との連絡に用いる「連絡帳」も子どもの様子や状態などが克明に記録されており、保護者との円滑なコミュニケーションに繋げている。

改善を求められる点

*** 総合的な人事管理**

園として「期待する職員像等」は示されておらず、「採用・配置・昇進・昇格等」に関する人事基準の文書化は見られなかった。

今後は理念や方針に沿った保育の実現に向け「期待する職員像等」を明確にし、一定の基準に基づき職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する人事管理制度の導入が期待される。

*** 事故防止体制の整備**

事故が発生した場合は事故報告書を作成し、検討内容や改善などが記録されている。

しかし、ヒヤリハットの報告書の提出が積極的に行われているようには見られなかった。

ヒヤリハットは小さな事例でもその都度提出し、事例の要因分析と対応策の検討を行い、職員間で情報共有して事故の発生、再発防止に向けた取組を行うことが望まれる。

*** 各種マニュアル等の整備**

プライバシーの保護に関する規程・マニュアル等、各種業務の取扱いに関するマニュアル等について整備が十分とは見られなかった。

職員による統一した業務の取扱いを確保するためにもマニュアル等の整備が望まれる。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

(R3.1.26)

私達の園の良さ（強み）と足りないところを客観的に見ていただき、的確なアドバイスをいただいたことを感謝します。私達が大切にしてきたこと、努力してきたことを高く評価してくださったことは、大きな励みになりました。当たり前と思っていることも文章化することの大切さと、マニュアル化が質の向上につながっていくこともよくわかりました。2020年度はコロナ禍にあって、保育と行事について、方針を相談しながら決め、職員間で共通理解をし、保護者に丁寧に説明して理解を得ることを大切にしてきました。不足を指摘された理念や職員象、様々な計画やマニュアルについても、同じように整えていきたいと思えます。社会の中で、保育所の果たす役割はますます大きくなります。しかし、保育は楽しくて、自身も成長する責い仕事です。園児・保護者・職員にとって「ひかり幼稚園でよかった」と感じていただけるよう研鑽を続けます。

7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

（参考）利用者調査の手法等

調査の手法	対象者	対象数(人)	基準数に満たない場合の理由
アンケート調査	利用者本人	48	定員は110であるが、総世帯数が81のため過半数の利用者から回答を得ている。
	家族・保護者		
聞き取り調査	利用者本人		
	家族・保護者		
観察調査	利用者本人		

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

		第三者評価 結果
	- 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
1	- 1 - (1) - 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>キリスト教の精神に基づく保育理念「私達は『謙遜・献身・愛』を持って仕えます」を基に、保育方針の「子どもたちのためによりよいものを」を合言葉にし、子どもの最善の利益を目指すことを保育実践の基本として職員への周知・指導を行っている。</p> <p>理念や保育方針はパンフレットやホームページに掲載し、広く外部への周知にも努めている。</p> <p>しかし、理念や保育方針について、職員の理解や浸透が十分とは職員個々の自己評価から読み取ることが出来なかった。職員の行動の拠り所となるよう会議や研修会等で更に周知徹底を図ることが期待される。</p>		

- 2 経営状況の把握

		第三者評価 結果
	- 2 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
2	- 2 - (1) - 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>熊本市保育連盟主催の園長会議やブロック園長会議、法人主催の研修会等に参加し、社会福祉全般の動向、事業を取り巻く環境の把握に努めている。</p> <p>また、地域の人口動態や特徴等、潜在的利用者に関する情報を把握・分析している。</p> <p>経営状況については法人が主体となって施設ごとの事業収入や人件費の伸び等が詳細に分析され、各施設で共有されている。</p> <p>財務基盤の安定化を大きな課題として捉え、コスト削減等、経営の改善に向けて取り組んでいる。</p>		
3	- 2 - (1) - 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画に最重要課題として「人材の確保と育成」「安定的経営」を掲げ職員会議で職員に周知している。</p> <p>経営状況や経営課題は法人の役員間で共有されている。</p> <p>コスト面から電気料金の削減に資するため、法人内の施設ごとの契約から法人全体の一括契約に変更する取組が進められている。</p> <p>また、節電や節水等経費削減に関し、職員に協力要請を行い、改善に向けた取組が行われている。</p> <p>ホームページに職員の採用情報を掲載し、募集しているが、必要な人材の確保には至っていないように見られた。課題解決に向けて更なる具体的な取組が望まれる。</p>		

- 3 事業計画の策定

		第三者評価 結果
- 3 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	- 3 -(1)- 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>2017年度から2021年度の中・長期計画が策定され建物、運営、人材育成の面から構成されている。</p> <p>計画には5年間のスローガン「よい園に ～ わたしたちのひかり幼稚園」「園児の保護者、職員が笑顔になる人が集まる ～ みんなのためのひかり幼稚園」を掲げ、目指すべき園の姿を示している。</p> <p>しかし、スローガンを実現するための保育内容や組織体制、職員体制、人材育成等についての具体的な計画は見られず、計画の策定が望まれる。</p> <p>また、中・長期計画を実現するための財務面での裏付けとなる中・長期の収支計画を策定することも必要と思われる。</p>		
5	- 3 -(1)- 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>単年度の事業計画に中・長期計画が含まれており、毎年実施する内容との混在が見られ、分かりにくいと思われた。</p> <p>まず、中・長期的なビジョンを明確にして中・長期計画を策定し、その中・長期計画を反映した単年度の事業計画となることが望まれる。</p> <p>また、計画には数値目標や具体的成果等を設定し、計画の進捗状況をより把握しやすいようにすることも期待したい。</p>		
- 3 -(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	- 3 -(2)- 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>単年度事業計画は職員会議等における職員の意見などを踏まえて園長が策定し、年度始めの職員会議で周知・説明されている。</p> <p>しかし、事業計画の内容について、職員の理解が十分ではないことが職員の自己評価から伺われた。</p> <p>職員の参画や意見の集約のもとで計画が策定され、評価・見直しが組織的に行われる仕組み・体制づくりが望まれる。</p>		
7	- 3 -(2)- 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園だよりや週報を定期的に発行し、行事計画や子どもの暮らしぶりなど、保育の様子を保護者に周知している。</p> <p>また、園の工事計画等についても保護者に対して事前に情報提供している。</p> <p>今後は、利用者に関係のある事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成し、保護者に周知することを期待したい。</p>		

- 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
- 4 -(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	- 4 -(1)- 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>夏祭りや運動会など大きな行事の実施後は職員による反省会を行うとともに、保護者にもアンケートを実施し、次回の改善に繋げている。</p> <p>また、年度末には保護者を対象に保育全般に亘る「園に対する評価」と題してアンケートを行い、集約・分析し、コメントをつけて保護者にフィードバックするとともに、職員も情報を共有して課題の改善に向けて取組んでいる。</p> <p>年度末には職員が保育計画・実践、子どもの理解、保護者対応など7項目に関して自己評価を行い、振り返りを行っている。</p> <p>しかし、評価結果を分析・検討する仕組みが十分に機能しているとは見られなかった。更なる改善を期待したい。</p>		
9	- 4 -(1)- 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日常的な保育の質の向上に関しては、職員会議や研修会等において、課題や改善に向けた対応策等の検討が行われている。</p> <p>第三者評価の受審は今回が初めてであり、今後は自己評価や第三者評価を定期的を実施し、改善課題を明確にしてPDCAサイクルに基づく保育の質の向上について組織的に取組むことが期待される。</p>		

評価対象 組織の運営管理

- 1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 1 -(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	- 1 -(1)- 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長の職務内容は運営規程に明示されており、役割と責任を明らかにして職員の理解を得よう職員会議や保護者対応等のあらゆる機会に職員に表明している。</p> <p>自らの考えや思いをホームページや園だよりを通して広く外部や保護者に向けて表明している。</p> <p>全職員の職務内容を示した業務分掌表を職員に配布にして周知することも必要と思われた。</p> <p>園長不在時における代行者の役割と責任について権限委任等を含め文書の作成も期待したい。</p>		
11	- 1 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は熊本市保育連盟主催の園長会議や研修会、熊本市主催の研修会等に参加し、児童福祉や労働関係等に関する法令を学び、自ら法令を遵守するとともに職員にも職員会議等の場を通して法令遵守等の必要性を周知・指導している。</p> <p>体罰等に関する報道があった際は、昼礼等で職員に情報提供し、虐待防止等の注意喚起を行い、職員の人権意識の向上に努めている。</p>		

- 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	- 1 - (2) - 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は登園時における保護者への声かけや子どもの表情、様子など子どもの状況把握に努めている。</p> <p>日常の保育に関しては職員が子どもの年齢や実情に合わせて丁寧な関わりができているかを確認し、必要に応じて指導を行っている。</p> <p>各クラスの保育日誌の内容を確認し、気づいた点等は職員に口頭で伝えたり、日誌にコメントを貼付してアドバイスなどを行っている。</p> <p>しかし、保育の課題に基づく改善のための組織体制の構築までには至っていないように見られた。</p> <p>職員の意見を反映した質の向上についての仕組みづくりに更なる指導力が発揮されることを期待したい。</p>		
13	- 1 - (2) - 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>業務の実効性を高める取組として「職務分担表」を作成し、教材管理や安全管理等の係、行事責任者や事故防止、虐待防止の委員会等を設け担当者を定めて業務を遂行している。</p> <p>行事に関しては計画から評価に至るまでPDCAサイクルに基づく組織的な取組が行われ業務の実効性が確保されているが、他の活動については、組織としての機能が十分発揮されているようには見られなかった。</p> <p>「ノーコンタクトタイム」と称して、職員が集中して写真の整理や保育記録の作成等ができるように時間の確保に配慮している。</p> <p>定期的に発行する園だよりや週報は、パソコンを活用して作成しているが、園全体でのICT化に向けての計画はこれからと見られた。</p>		

- 2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
- 2 - (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	- 2 - (1) - 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>必要な人材の確保は出来ているが、時間帯によっては人員配置にゆとりがなくホームページ等で求人を行っている状況にある。</p> <p>実習生を積極的に受入れ、福祉人材の育成に貢献し将来の人材確保に努めており、実習に受け入れた学生を採用した例もある。</p> <p>また、非常勤職員から正規職員への登用や、大学で社会福祉を学んだ学生を採用するなど専門的知識を有する人材の確保に努めている。</p> <p>しかし、具体的な採用計画と取組の実施には至っていないように見られた。</p> <p>園としての人材確保・定着に関する計画の策定とその実施を期待したい。</p>		
15	- 2 - (1) - 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育所として「期待する職員像等」は明確に示されておらず、「採用・配置・昇進・昇格」等に関する人事基準の文書化は見られなかった。</p> <p>理念や保育方針の実現に向けて職員像等を明確にし、一定の基準に基づき職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する人事管理が導入されることを期待したい。</p>		

- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	- 2 - (2) - 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>有給休暇の取得状況や時間外労働に関するデータ等、就業状況は職員別に把握され、定期的に確認されている。</p> <p>年度始めに1年間の大まかな勤務表を職員に提示して、希望休や有給休暇、連続休暇等について、変更・希望等が言い易い環境に配慮し働きやすい職場づくりに取り組んでいる。職員からは希望する休暇が取りやすいとの声が聞かれている。</p> <p>福利厚生面ではインフルエンザの予防注射や定期健康診断のオプションの費用を補助している。また、主な行事の後には、職員ランチ会を行って労をねぎらいモチベーション維持・向上に努めている。</p> <p>ハラスメント等、困りごとや悩みの相談窓口が法人に設置されている。</p>		
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	- 2 - (3) - 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>日々の保育に関しては保育方針の「子どもたちによいものを」を基本として改善が必要と思われるときは改善を検討し、職員育成に努めている。</p> <p>職員は「自己評価シート」を作成し、保育の内容や自らの課題、目標達成度について振り返りを行い、次年度の目標を設定している。</p> <p>園長は職員との個別面談を実施し、目標の達成度や進捗状況の確認、困っていること等の聴き取りなど、課題の把握・助言を行い、職員の育成に向けて取り組んでいる。</p> <p>しかし、個別面談が実施されなかったり、時期が不定期との声が複数の職員の自己評価に見られた。</p> <p>今後は「期待する職員像等」を示し、園としての方針や方向性に基づく目標の設定と中間面接を含めた個別面談を実施し、職員一人ひとりの育成に向けた目標管理の取組を期待したい。</p>		
18	- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>教育・研修に関しては、事業計画に外部研修への積極的参加や園内研修の充実等が掲げられている。</p> <p>しかし、具体的な計画の策定は見られなかった。</p> <p>園長はより多くの職員に研修の機会を与える考えを持っており、キャリアアップ研修等に多くの職員が参加している。</p> <p>障がい者保育等の研修に参加した職員は、研修報告書を提出することで学びを再確認し、園内研修会において学んだ内容を他の職員に周知し、共有している。</p> <p>また、園長は20歳代後半から30歳代前半の職員を対象にミドルリーダー育成を課題として取り組んでいる。</p> <p>今後は職員の教育・研修に関する基本方針を明示した研修計画を策定して職員育成に取り組むことを期待したい。</p>		
19	- 2 - (3) - 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>園長は職員に外部研修の情報提供を行い、自主性を尊重し、希望する研修への参加を促し研修費用等を補助するなどして支援している。</p> <p>しかし、一人ひとりの職員が実際に必要な知識や技術の水準に応じた計画的な教育・研修には至っていないように見られた。</p> <p>新人職員には先輩職員によるOJTが1年間に亘って行われ、職員のスキルアップに努めている。</p> <p>今後は、個人の研修履歴を作成し、職員一人ひとりの知識と習熟度に沿って公平で個別的な研修の機会が確保されることを期待したい。</p>		

- 2 - (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	- 2 - (4) - 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育等に関する専門職の育成に向け、実習生の受入れに積極的に取組んでいる。九州中央リハビリテーション学院や熊本学園大学等から毎年多くの実習生を受入れている。</p> <p>実習の内容やプログラムは学校側と連携して行い、実習生にはオリエンテーションを実施し、子どもの発達段階に応じた保育実習を行い、効果的な研修、育成に努めている。</p> <p>また、中学生のナイストライや高校生のインターンシップなどの体験学習にも積極的に取り組み学校の福祉教育にも協力している。</p> <p>今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、法人の方針により実習生の受入れは控えている。</p> <p>専門職の教育・育成についてのマニュアルの整備が望まれる。</p>		

- 3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
- 3 - (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	- 3 - (1) - 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページを活用して園の概要や保育理念、保育方針、園長メッセージ、保育の内容等が適切に公開されている。</p> <p>また、苦情解決体制や苦情内容、対応状況等は事業報告書に掲載し、決算等財務状況等とともに法人のホームページで公開され、経営・運営の透明性が確保されている。</p> <p>運動会等行事の際は、近隣の住民に情報提供している。</p> <p>事業報告書や決算等財務状況は園のホームページに公開すると更によいと思われた。</p>		
22	- 3 - (1) - 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人契約の税務会計事務所による外部監査を毎年実施し、公正かつ透明性の高い経営・運営に努めている。</p> <p>また、法人の監事による内部監査が適切に実施されている。</p> <p>会計伝票等の事務処理に関しては複数の職員によるチェックが行われ、会計事務の適正化を図っている。</p> <p>しかし、法人の経営規程や決裁規程は整備されているが、事務・経理に関する担当職員の職分担表には権限・責任の範囲が明確に示されているようには見られなかった。改善が望まれる。</p>		

- 4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	- 4 - (1) - 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>地域との交流について、事業計画に地域や関係機関との連携として「地域のお年寄りとの交流、近隣幼保小中学校との交流」を明示している。</p> <p>園の夏祭りにはポスターで地域住民に参加を呼び掛け、ヨーヨー釣りやボーリングなどのゲーム、盆踊りなどを楽しんでいる。</p>		

<p>また、地域の生き生きサロンやデイサービス利用の高齢者と手遊び・折り紙・お手玉などをして交流する機会を設け、地域との交流を広げている。</p>		
24	- 4 -(1)- ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント> 事業計画に「保育士養成校や看護師養成校学生の保育実習、中学校・高校の職場体験を受け入れ、地域貢献を果たす」と明記しており、大学や専門学校生の保育実習、中学生や高校生の職場体験など、学校教育に協力している。 実習生を受け入れる際は、個人情報の取扱いや守秘義務について説明する他、命を守る大切な仕事であることから困ったときは職員にすぐ連絡するように指導し、事故やトラブル防止に努めている。 しかし、ボランティアの受け入れ実績はほとんどないように見られた。 ボランティア受け入れの基本姿勢を明文化し、受け入れに関するマニュアルの整備が必要と思われる。</p>		
<p>- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	- 4 -(2)- 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント> 熊本市保健子ども課・熊本市子ども支援センター・児童相談所・保健所・警察・消防署・医療機関など、保育所として必要な社会資源を明確にしている。 関係機関の電話番号を記載したリストを事務室に常備し、職員会議で周知している。事故・火災・不審者侵入など緊急時の連絡方法を記載したプリントを各保育室に掲示し、冷静かつ適切に対応できるよう努めている。 「熊本市保健子ども課」や療育園等と必要に応じて適切に連携している。 職員は職員会議で情報を共有し、子どもたちのより良い成長・発達のための支援を行っている。</p>		
<p>- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	- 4 -(3)- 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
<p><コメント> 地域の子育てサークルに場所を提供している。 また、子育てサークルに出向いて楽しく子育てができる支援も行っている。その際、子育てに関する相談も受け付け助言している。 地域にまだ馴染みのない転入者の母親には「転入ママウエルカムの会」などを紹介して仲間づくりを支援している。 栄養士は校区の食育ネットワークに所属しており、メンバーと離乳食のレシピ作りに取り組んでいる。レシピは地域の行事や子育てサークル、乳児の検診時、また、児童委員を通じて地域の子育て中の保護者に配布している。 保育士・栄養士の専門的知識や技術など、保育所が有する機能を地域に還元している。</p>		
27	- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント> 園長は、小学校教頭・保護者会代表・民生委員・社協長・郵便局等で構成する「大江子育てネットワーク会議」に参加して情報交換を行ったり、子育てサークルの支援などの機会に地域の福祉ニーズの把握を行っている。 11月の収穫感謝礼拝の際は、地域の一人暮らしの高齢者に子どもと職員がメッセージカードを添えて果物と野菜を届ける活動を継続して行っている。 園長は災害時に帰宅困難者や独居高齢者を園で受け入れ、備蓄品の提供をしたいという思いを持っている。実現するための具体的計画の策定と実現に向けた取組が期待される。</p>		

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	- 1 - (1) - 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明書（入園のしおり）の事業の目的・運営方針として「本園は、園児の意思及び人格を尊重して、常に園児の立場に立って保育を提供するよう努めます」と明示し、「子どもたちのためによりよいものを」を合言葉にしている。</p> <p>「子どもに今大事なことは何か」を大切に、子どもに寄り添い安心できる保育に努めている。</p> <p>園長は、子育て等に関する対談記事「親と子の幸せを創る子育て」を職員に配布・紹介し、職員に感想文の提出を求め、自らの保育を振り返る機会としている。</p> <p>職員は子どもの役割、遊び方などについて固定的な観念にとらわれることなく、本人の思いや希望を尊重した保育に取り組んでいる。</p>		
29	- 1 - (1) - 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は「人権擁護のためのチェックリスト」を用いて自己点検を行い、人権擁護に配慮した保育となっているかの確認を行い、日々の保育に活かしている。</p> <p>また、職員は子どもの衣服やオムツの汚れ、表情などに気を配り、虐待の早期発見・予防に努めている。</p> <p>プール遊びは周囲から見えないように目隠しのネットを張り、トイレは年齢に応じて扉をつける、オムツ交換は人目に触れないよう配慮して行う、子どもの排泄の失敗はさりげなく対応するなど、プライバシー保護に配慮した保育に努めている。</p> <p>しかし、プライバシー保護に関するマニュアルは見られなかった。</p> <p>今後はプライバシー保護に関する、規程・マニュアルの整備が望まれる。</p>		
- 1 - (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	- 1 - (2) - 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページを開設し、ひかり幼児園のはじまり・園の概要・保育理念・保育方針・保育目標・年間行事やその時の子どもたちの様子など、必要な情報を適時更新している。</p> <p>見学希望者を随時受入れており、希望の日時を調整し、園長が、不在時は主任保育士が対応している。その際、ひかり幼児園のはじまりや保育理念、園の概要や子供たちの活動を写真で紹介したパンフレットを用いて、園内を案内している。</p> <p>見学者の質問には丁寧な説明を心がけ、利用者が安心して保育所を選択できるよう積極的に情報を提供している。</p>		
31	- 1 - (2) - 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>入園説明会は「重要事項説明書（入園のしおり）」を用いて園長が説明し、同意を得ている。特に配慮が必要な外国籍などの保護者にはゆっくりわかりやすく補足説明を行っている。</p> <p>入園時準備するものは実物を示してわかりやすく伝え、質問にも丁寧に答えるなど、保護者の安心に繋げている。</p>		

<p>保育の変更については、例えば、保育料無償化に伴う給食費の負担について、お手紙で知らせている。台風などの為の休園など、事前に情報提供が可能な際は、掲示板「うさぎのボード」で知らせている。</p> <p>また、緊急の場合に備え、一斉配信メールシステム「きっずノート」を導入している。</p>		
32	- 1 -(2)- 保育所の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育所の変更時は担当職員が保育要録を記入し、適切な情報を転園先に送付している。その際、子どもの特徴や長所を記入し、更に長所が伸びるように、また、苦手な点については、どのような手立てをすれぱうまくいくのかなど具体的に記載することを心掛けている。</p> <p>必要に応じて子どもの転園先へ、電話や訪問で連絡をとり子どもの様子を確認している。園長は園長会で転園先の園長と情報交換するなど、保育の継続性を大切にしている。</p>		
- 1 -(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	- 1 -(3)- 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>夏祭りや運動会などの行事終了後にアンケートを実施し、次回の改善に活かしている。年1回、保護者アンケートを実施し利用者満足度の把握に努めている。</p> <p>園長はアンケートの集計・分析を行い公表している。</p> <p>連絡帳・送迎時のコミュニケーション・個別面談・保護者会・クラス懇談会など利用者満足度を把握する機会は多くあり、利用者の意見を踏まえて利用者満足の上昇に取り組んでいる。</p>		
- 1 -(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	- 1 -(4)- 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>要望・相談・苦情の受付窓口を設け、受付担当者・解決責任者・第三者委員2名を配置した苦情解決の仕組みを確立している。そのことを重要事項説明書(園のしおり)に記載し入園説明会で保護者に周知している。</p> <p>また、玄関ホールの掲示板にも掲示して周知を図っている。</p> <p>要望・相談・苦情の受付簿にその内容について、受付と解決を図った記録が適切に保管され、事業報告書に掲載するとともに法人のホームページでも公表している。</p> <p>お迎えの時間に子どもが待機する部屋の情報について苦情があったことから、待機する保育室を急遽変更する際は、玄関の掲示板「うさぎのボード」で変更を知らせよう改善している。</p>		
35	- 1 -(4)- 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>意見箱を玄関に設置しており、定期的に確認している。その他、口頭での意見やお便り帳の記入で相談や意見を把握している。</p> <p>お手紙などの末尾に「ご不明な点等ございましたら担任または事務室に遠慮なくお尋ねください」と明示し、相談や意見を言いやすくしている。</p> <p>職員は笑顔で保護者とのコミュニケーションに努め、保護者の表情など気になる際は、さりげなく声をかけ、相談や意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。</p> <p>相談や意見の内容によっては事務室や事務室横のパーテーションを設置したコーナーでゆっくり相談できるよう環境を整備している。</p>		

36	- 1 - (4) - 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者から相談や意見を受けた職員は主任へ報告し、主任保育士は園長に報告している。受けた相談や意見の内容について、担当保育士・主任保育士・園長が話し合い迅速な対応に努めている。</p> <p>改善に時間を要する際は丁寧な説明を心がけ理解を得るよう努めている。内容によっては園だよりで公表している。</p> <p>しかし、対応マニュアルの整備は見られなかった。</p> <p>対応・記録・公表についての手順を記載したマニュアルを整備することで、より適切な対応に繋がると思われる。</p>		
- 1 - (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	- 1 - (5) - 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は保育室内外・園庭など安全点検のチェック項目に沿って毎日点検し、安心・安全の確保に努めている。</p> <p>給食担当者は報道などの情報から食中毒防止や誤飲防止など、その都度注意喚起を行っている。</p> <p>事故報告書には検討内容や改善策などを記録しているが、事故防止委員会は十分機能しているようには見られなかった。</p> <p>今後はヒヤリハット事例の積極的な収集に努め、要因・分析し改善策を共有して、事故の未然防止に向けた組織的な取組が望まれる。</p>		
38	- 1 - (5) - 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各部屋に空気清浄機や加湿器を備え、清潔な環境維持に努めている。</p> <p>ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症について対応方法をプリントし職員に配布しており、流行する季節が近づくと昼礼で対応方法について読み合わせを行っている。</p> <p>嘔吐物の処理セットを各保育室のトイレに常備し、消毒液の作り方と使用方法について説明したプリントを掲示している。</p> <p>感染症の発生状況について、便りや掲示板で保護者に情報を提供して注意喚起を促し、感染拡大防止に努めている。</p> <p>重要事項説明書（園のしおり）に感染症と登園の目安を一覧表にして添付し、保護者に感染症防止の協力を呼びかけている。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染防止ため、更なる緊張感を持った対策が継続されることを望みたい。</p>		
39	- 1 - (5) - 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「災害・安全訓練計画」を年齢別に作成している。災害は火災・地震・台風・雨など、また、出火場所も給食室・隣家・地震後など、場所や発生時間を変えて多様な場面を想定し、避難経路や避難場所を確認している。</p> <p>訓練後は振り返りを行い、次回の訓練に活かしている。緊急避難持ち出し用品は黄色のリュックに収納し、各保育室に常備している。訓練の日に緊急避難持ち出し用品の不足がないか確認している。</p> <p>非常食は、栄養士がリストを作成し管理している。奇数月の訓練の日を非常食の給食日とし、子どもが非常食の味に慣れることや数量が不足していないか確認することとしている。</p> <p>地域住民と炊き出し訓練を行い、栄養士が不在でも他の職員が対応できるように、奇数月に一回、非常食の給食日を設定するなど、日ごろから災害時に備えており、参加者には非常食のレシピを配布している。</p>		

- 2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
- 2 -(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	- 2 -(1)- 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>水遊び・沐浴・フッ素洗口などの標準的な実施方法は文書化されている。</p> <p>散歩については、園外保育日誌に計画を立て実施したことを記録し、安全で楽しい散歩に努めている。</p> <p>しかし、散歩や授乳など日常的な保育の基本となる部分について、標準的な実施方法を文書化し、職員によってサービスの質に差異が生じないように取り組む必要があると思われる。</p> <p>文書化は新人職員の指導に必要であり、保育現場での活用が望まれる。</p>		
41	- 2 -(1)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長や主任は標準的な実施方法について、気づいた点をメモに残し次回の参考にしている。</p> <p>しかし、標準的な実施方法の見直しをする仕組みは確立していないように見られた。</p> <p>今後は、標準的な実施方法の見直しの時期や方法を定め、定期的に見直すなど、保育サービスの質の向上に向けた取組を期待したい。</p>		
- 2 -(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	- 2 -(2)- アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>入園時の面接で年齢別の面接資料に従って体質・食事・睡眠などを丁寧に聞き取り、保護者が提出した「予防接種歴・罹患歴一覧表」「家庭連絡表」「送迎状況」等の情報から身体状況や生活状況・家庭状況を詳細に把握している。</p> <p>さらに、日常の観察や送迎時のコミュニケーションなどで得た情報を基にアセスメントを行い、担当職員が指導計画を作成し、主任保育士と園長の承認を得ている。</p>		
43	- 2 -(2)- 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は指導計画の見直しを定期的に行い、評価・反省をして次のプランに反映している。</p> <p>療育園に通所している子どもについては療育園と連携し、療育園の助言を受け、個別的な支援や集団の中の支援に配慮した計画を策定し、温かく見守りながら支援している。</p>		
- 2 -(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	- 2 -(3)- 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>主任保育士が記録の研修に参加し、職員会議で職員に報告している。書きやすい記録様式に改善し、職員によって書き方に差異が生じないように工夫している。</p> <p>主任保育士と園長は記録を随時確認し、子どもをよく観察してどのような関わりを持ったか、その結果子どもがどのように変化したかの記録を重視し、指導助言を行っている。</p> <p>保育日誌・個別経過記録に子ども一人ひとりを丁寧に観察した内容と関わりについて詳細に記録されている。</p>		

45	- 2 - (3) -	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は個人情報保護について入職時に説明を受け、誓約書を提出しており、その旨を理解し遵守している。</p> <p>運営規程に子どもに関する記録の保存年限を記載しているが、記録の保管・廃棄に関する規程は見られなかった。</p> <p>子どもに関する記録は、各保育室の扉がある棚に収納されている。子どもに関する記録は施錠して保管・管理し情報漏洩を防ぐことが大切であり、記録の管理規程を定め適切に管理することが望まれる。</p>			

評価対象

A - 1 保育内容

			第三者評価結果
A - 1 - (1) 保育課程の編成			
<input type="checkbox"/>	A - 1 - (1) -	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「全体的な計画」は、キリスト教の教えに基づく保育理念のもと、保育方針・保育目標を定め、「子どもたちのためによりよいものを」を基本として作成されている。</p> <p>「全体的な計画」は、これまで主に園長が策定し職員に周知するとしている。</p> <p>今後は、保育に関わる職員の意見等も反映して編成し、評価・見直しにも職員が参加できる体制をつくることが望まれる。</p>			
A - 1 - (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
<input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) -	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>新園舎は、広いスペースで伸び伸びと生活でき、子どもが心地よく過ごすことのできる空間となっている。</p> <p>園庭は、以上児クラスが、ロアツ熊本の育成コーチによる運動遊びの指導を受けるのに十分な広さがあり、未満児クラスがゆっくりと外気浴を行うスペースも確保されている。</p> <p>未満児クラスは全て床暖房となっており、職員手作りの仕切りや柔らかい素材の遊具が用いられている。職員は、色々な工夫を行い、危険が少なく心地よい生活空間の環境整備に配慮している。また、空気清浄機や、加湿器も各部屋に完備されている。</p>			
<input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) -	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は子ども一人ひとりの家庭の状況や育ちの様子等の把握に努め、丁寧な観察を行い、子どもの状態に応じて気持ちに寄り添い、安心して過ごせるような保育を心がけている。</p> <p>子どもの様子は、個人記録に細かく記入されており、職員の子どもに対する思いが伺える記述が多く見られた。</p> <p>未満児クラス職員は、午睡中の時間を利用し、また、以上児クラス職員は、毎週水曜日に会議を開催して園児についての情報交換を行い、職員同士が共通理解した上で保育に当たっている。</p>			

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園は、「訓練や鍛錬ではなく、一人ひとりに寄り添った保育」を大切に「自然に生活習慣が身につく保育の実践」を行っている。</p> <p>自らズボンがはける様に高さに配慮した椅子を用意して、生活習慣が自発的・且つ自然な形で身につくように、職員の工夫が保育室等各所に見られた。</p> <p>職員は、日頃から子どもの良いところを認めて共有し、「ありがとう」等の言葉かけを心がけており、優しい心を育てる保育を実践している。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「神様はいつでも見守ってくださる」との日常的な教えが子どもの心に浸透し、「安心感」が生まれ、主体的な活動の支えとなるように保育が展開されている。以上児になると「神様が見ていてくださるよ」と、子ども同士の会話の中にも自然に発せられ、優しく豊かな心が育まれている。</p> <p>訪問調査日に行われていたクリスマス会の練習では、友達や先生と一体となって進んで身体を動かし表現している子どもたちの様子が観察され、安心した環境で心が豊かに育っていることが伺われた。</p> <p>園庭には保護者会の協力によって様々な木々が植えられており、季節ごとに咲く花々を愛でる心も大切にされている。</p> <p>「お手伝いのできる子ども」「考えて工夫する子ども」等の保育目標についてもキリスト教の精神に導かれながら主体性を育む環境が整備されている。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>0歳児の中でも低月齢児・高月齢児に分けて、一人ひとりの発達や発育状況を踏まえ月齢にあった保育の実践を心がけている。</p> <p>離乳食に関しては、週ごとに「未経験食材」の確認や「食材のカットの仕方」等、担当職員と給食担当者が協議し書面に残して担当職員全員が共有し園児への食事提供を行っている。</p> <p>保育備品については長年使用されたものが多く、備品の破損箇所は職員が簡易的に修理しているものが数点見られた。</p> <p>備品等の破損や危険箇所があった場合はヒヤリハット報告書を作成し、改善策を共有して事故の未然防止に取り組み、更に安心安全な環境整備への配慮を期待したい。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>新園舎になり保育室のスペースが広がったことでゆとりのある生活空間となっており、使用するおもちゃ等を園児が自ら選べるような環境が整備されている。</p> <p>クラス担当は中堅保育士、新任保育士でバランスよく構成されている。新任教育担当保育士の指導のもと、子どもと一緒に楽しく遊ぶことにより子どもとの「信頼関係」を築き、「一人ひとりに寄り添うこと」を目標に保育が行われている。</p> <p>子どもたちに対しては、自然な形で遊びに興味を持てるような環境づくりに努めている。</p>		

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は、日頃から一人ひとりの子どもができることを大切にされた保育を心がけるように職員を指導している。男の子だから・女の子だからという固定観念を持たず、柔軟な考え方を大切にされた保育を実践している。</p> <p>月1回行われるロアッソサッカー教室は、3～4名の外部指導者により1クラスずつ運動指導が行われており、園児は楽しく参加している。広い園庭を存分に走り回り、遊びを中心に興味ある活動を行い、「体を動かす楽しさの学び」「運動能力の向上」に適切な環境が整備されている。</p> <p>また、地域との交流も以上児を中心に積極的に行われており、社会性を育む機会も多く持たれている。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>現在、二カ所の療育機関と連携しながら担当職員1名を加配し、週一回の以上児職員会議において子どもの状況を共有しながら障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備している。</p> <p>また、担当職員は療育機関に出向き、療育機関内での子ども様子を観察し、園における保育環境の参考にするなど、より良い環境整備に努めている。</p> <p>身体的な障がいがあっても運動会を一緒に楽しめるように、他の保護者の理解と協力を得て参加できた例もある。障がいのある子どもに寄り添った保育が実践されている。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>早番・遅番担当は、常に、未満児担当、以上児担当からそれぞれ1名を配置し、子どもが安心してゆっくり長時間過ごせるように環境を整えている。</p> <p>以上児は、「読み聞かせ」「ブロック遊び」等、15分を目途に変化を持たせ、その時々に合わせて遊び等が展開されている。</p> <p>未満児には寄り添い保育を中心に、静かに遊べる環境構成を心がけている。</p> <p>職員同士の引継ぎ事項に関しては、それぞれにメモもしくは口頭で行われているが、今後は引継ぎ事項が確実に遂行される仕組みの構築が望まれる。</p>		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (2) - 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援が必要な子どもや、健康面での配慮を必要とする子どもに関する事項や、育ち・発達の状況等は、保育要録に記録して小学校に引継いでいる。</p> <p>就学前学習等の準備や、それに基づいた保育は、年長クラスの担当保育士が行っているが、園長による計画の確認は見られなかった。</p> <p>今後は小学校との連携、就学を見通した計画の文書化が期待される。</p>		
A - 1 - (3) 健康管理		
A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (3) - 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、検温、咳・鼻水等の健康チェック表を用いて登園前の保護者による体調管理が強化されている。</p> <p>毎朝の健康管理はクラスの担当保育士が行い、異変が見られた場合は、園長と看護師に報告し、対応をとることとしている。</p>		

日々の保護者との情報交換は、未満児は連絡帳で、以上児は口頭での聞き取りを行っている。看護師は通常0歳児保育室で勤務しており、以上児と関わる機会が少なく、以上児の健康管理に関する情報把握が十分ではないように見られた。看護師が全クラスの子どもの健康状況を把握できる環境整備が望まれる。

感染症が発生した場合等は、玄関にお知らせとして掲示するとともに、一斉配信メールシステム「きつずノート」で保護者へ速やかに連絡することとしている。

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (3) - 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
-------------------------------	---	-------

<コメント>
健康診断は年2回・歯科検診は年1回実施されている。
虫歯予防のために、未満児と3歳児は「ぶくぶくうがい」、4・5歳児にはフッ素洗口を行っている。
フッ素洗口は毎日「オラブリス」を用いて歯磨き指導が行われており、園児の虫歯予防に努めている。

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (3) - アレルギー・疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a・b・c
-------------------------------	--	-------

<コメント>
アレルギー疾患のある子どもに対しては、医師の指示書に基づいて適切な対応に努めている。
アレルギー疾患のある子どもへの給食やおやつの提供時は、普通食とは別の色の食器やお盆を使用して提供し、事故の未然防止に努めている。
しかし、個人を特定する「ネームタグ」等は使用されていなかった。現在、アレルギー対応食は一食のみであるが、将来複数児童に提供する場合を想定し、事故の未然防止を強化するために更なる仕組みを期待したい。

A - 1 - (4) 食事

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (4) - 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
-------------------------------	--	-------

<コメント>
五感で感じる食事の提供に努めている。
「カミカミメニュー」として未満児が自発的に食事を楽しめるように野菜をスティック状にし、手づかみできるよう配慮したり、咀嚼を促すために煮物の野菜は大きめ、且つ軟らかめに調理するなど、食物への興味や関心を持てるよう工夫している。
月に1回は「郷土料理の日」を設定し、九州のご当地メニューの食事を提供している。
3月は、年長児のリクエストメニューを取り入れ、園での思い出づくりを行うなど、調理担当者を中心に様々な工夫が行われている。

A <input type="checkbox"/>	A - 1 - (4) - 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
-------------------------------	---	-------

<コメント>
食材は地産地消を意識して取り入れ、園で栽培した新鮮な野菜等を用いて美味しく食べられるように工夫した食の提供に努めている。
毎月「給食の振り返り」として、子どもの食事の様子や好き嫌いなどを職員から聞き取り、次月のメニューへ反映している。

食中毒等に関する報道があった際は、昼礼で「誤飲・食中毒等」の注意喚起を行い、事故の未然防止に努めている。

保護者へは、「展示食」「給食だより」「ワンポイントレシピの掲示」「ホームページへ記載」等で発信し、食育に力を入れている。

子どもの誕生月には保護者を招き、子どもと同じ給食を体験する「試食会」も開かれている。

平成 24 年、熊本市内保育所でいち早く熊本市版 HACCP に取り組み、「熊本市食品自主衛生管理評価基準」に基づいた施設であることの認定を受けており、子どもが安心して安全に食べることのできる食事の提供に積極的に取り組んでいる。

A - 2 子育て支援

		第三者評価結果
A - 2 - (1) 家庭との緊密な連携		
<input type="checkbox"/>	A - 2 - (1) - 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日々の連絡帳や送迎時のコミュニケーションなどを通して、子どもの様子や健康状態、発育・発達の状況等について相互理解を図り、子どもの生活を充実させるために家庭との連携に努めている。</p> <p>また、定期的に発行する園だよりや週報を通して、子どもの園での様子や暮らしぶりなどの情報を発信している。</p> <p>保護者懇談会や保護者面談による家庭との連携を深める取組は行われているが、参加者が少ないことが課題とされている。</p> <p>一斉配信メールシステム「きっずノート」を更に活用して園と家庭との迅速な情報の交換、共有等が行なわれ、連携が深められることが期待される。</p>		
A - 2 - (2) 保護者等の支援		
<input type="checkbox"/>	A - 2 - (2) - 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は「キャリアアップ研修」や、園が発足時から施設会員として加入している「日本保育ソーシャルワーク学会」などで行われる保護者支援に関する研修を積極的に受講している。受講していない職員は、受講した職員を手本として学んでいる。</p> <p>「ことば教室」の案内等、行政等から出される保護者や子ども向けの支援情報は、随時提供している。</p> <p>また、保護者から子育てや困りごと等の相談を受けた場合、クラス職員で検討したのち保護者へのフィードバックを行い保護者の安心に繋げている。</p> <p>職員間の相談体制は構築されているが、園長へ報告する仕組みが十分ではなく、相談内容の記録も見られなかった。改善に向けた取り組みが望まれる。</p>		
<input type="checkbox"/>	A - 2 - (2) - 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は、虐待等に関する対談記事「親と子の幸せを創る子育て」を職員に配布・紹介し、職員に感想文の提出を求めるとして、虐待防止等に関する意識の向上に取り組んでいる。</p> <p>登園時には子どもの衣服やオムツの汚れ、表情などに気を配り、虐待の早期発見・予防に努めており、虐待の疑いがある場合は園長に報告し、市の担当課へ報告する体制が構築されている。</p> <p>現在、園では虐待の事例は発生していないが、報道や他園の事例を共有するなど、常に虐待防止等子どもの権利擁護に配慮する保育に努めている。</p>		

A - 3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A - 3 - (1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)		
A <input type="checkbox"/>	A - 3 - (1) - 保育士等が主体的に保育実践の振り返り (自己評価) を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>未満児担当職員は、午睡時に、以上児担当職員は毎週水曜日に会議を開催し、職員間で話し合い、保育実践の振り返りが行われている。</p> <p>また、職員は「自己評価シート」を作成し、保育の内容や自らの課題、目標達成度等について振り返りを行い、次年度の目標を設定するなど、保育実践の改善等に向けて取り組んでいる。</p>		

(参考)

	第三者評価結果		
	a	b	c
共通評価基準 (評価対象 ~)	18	26	1
内容評価基準 (評価対象 A)	12	8	0
合 計	30	34	1